

# 老年看護学実習 I 2 事例目

自宅学習／水巻病院実習生

脳梗塞（BAD）患者の看護を学ぶ

# 患者紹介／B氏

66歳 女性

医療保険の種類 ( 国民健康保険 ) 3割負担

介護認定 申請していない ) ※申請の必要なし

診断名：脳梗塞

(左放線冠分枝粥腫型梗塞：アテローム血栓性脳梗塞)

身長158cm 体重57kg BMI 22.83

部分入れ歯の使用あり

# 背景

現在、夫と2人暮らし。仕事は夫と自宅が併設されている不動産業を行っている。長男（38歳）、次男（35歳）はそれぞれ家庭をもち県外で暮らしている。

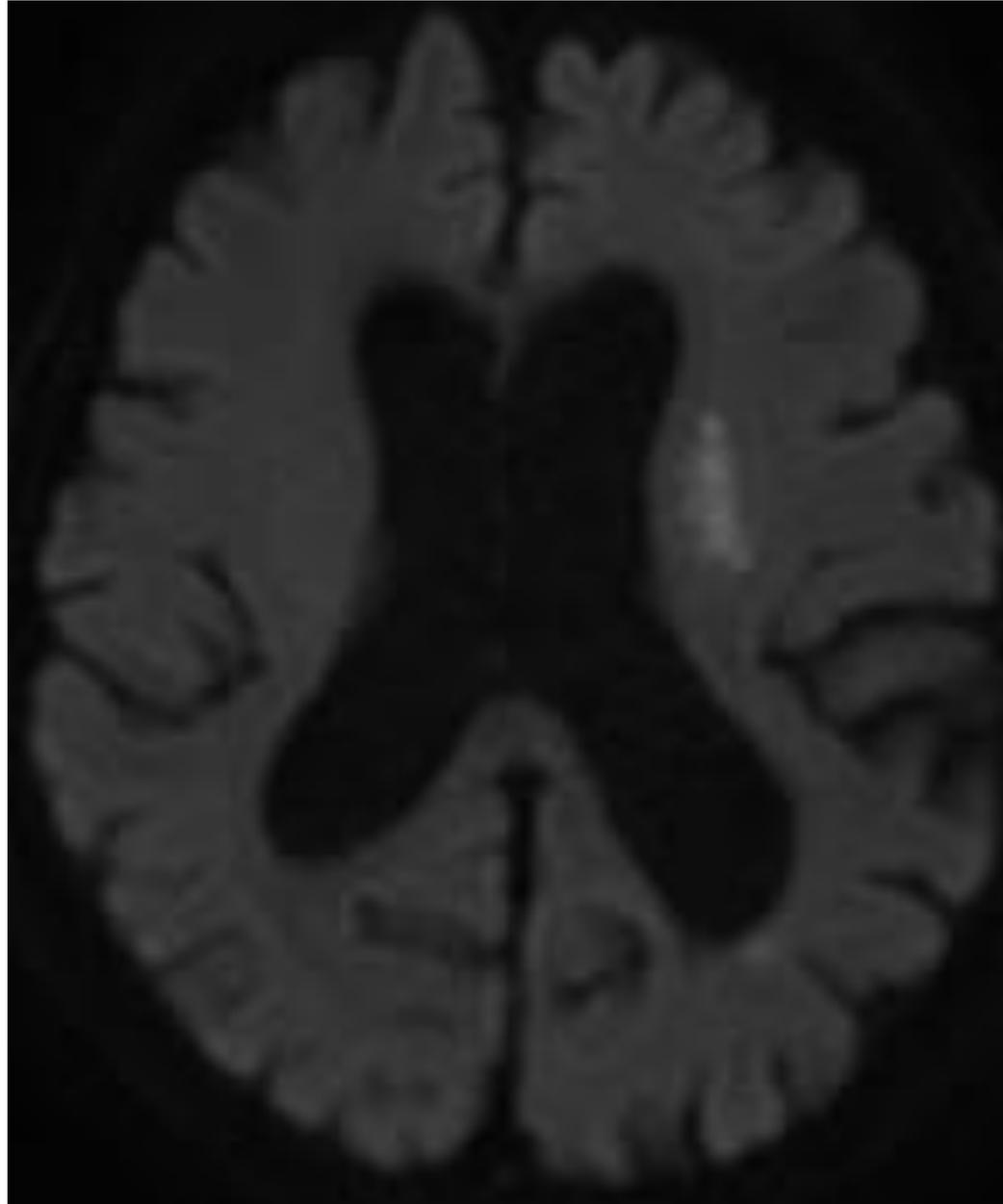
50歳代で血圧と中性脂肪が高いと指摘され、食事には気をつけていたが、子どもが結婚してからは週2回程度外食やスーパーで弁当を買ってきて食事を摂ることが多くなった。喫煙は、20歳から25歳まで1日10本程度吸っていたが、出産時に禁煙をし、それ以降は吸っていない。飲酒は、ビール350mLを1缶週末の2日程度摂取している。何事も最後まで行う几帳面な性格で、友人は多く遠方の友人とは毎年旅行をしていた。

# 入院までの経過(1)

11月20日午後14時過ぎに仕事中に字が上手く書けなくなり、ペンを持つことができなくなった。その後右足も動かしづらく引きずるようになった。右上下肢麻痺出現から30分程度経過したところで症状が改善したため、不動産の事務仕事を続けていた。その日、夜間診療所を受診したが、症状が消失していたため、血圧の変化と診断され帰宅した。翌日11月21日午前3時に右上肢麻痺が出現した。様子を見ていたが麻痺の改善がなかったため同日午前11時30分に救急車を要請し、脳梗塞疑いで入院となった。

# 画像

入院当日  
2021/9/13



## 入院までの経過(2)

入院時、意識レベル清明（JCS：0）で見当識良好であった。右口角がやや下垂しているが、構音障害は目立たなかった。右上肢は、右手を挙げることは可能であるが、握力が左に比べて弱くバレー徴候（p.47）陽性で、右上肢は下垂した。瞳孔不同はなく対光反射は迅速で、眼球の注視制限はみられなかった。頭部CTおよびMRIで左中大動脈領域の左放線冠に梗塞がみとめられた。

# 既往歴

20歳代より喘息の治療を吸入薬で行っている。  
52歳時の人間ドックで高血圧と脂質異常症を指摘され、内服治療をしている。

- ◎ 内服薬に関して家族が後から持ってくる予定。  
その後薬局へ鑑定に出し、主治医の指示を確認する。

# 入院1日目（受け持ち初日）



昨日の昼も少し右手が使いにくかったのよ。昨日来ればよかったのだろうけど……、治ったからいいかと思って、また手が使いにくくなって入院したのよ。怖かったけれど、点滴も始まってまた治ってきてよかったわ



このときに  
他に  
どのような観  
察をしますか。

右の手は  
動きますか

右の手はね、ペンが持ちにくい  
けど、文字はかけるし大丈夫よ。  
家ではお父さんと2人で  
仕事をしていたの。  
帰ってからも仕事しなきゃね

そうなのですね。  
これから先も仕事  
を続けていきたい  
のですね



それはね. 子どもも近くにいないし,  
お父さんと仕事ができることがある意味  
楽しみだったというか. それに, 手や足が  
動かなかったら, 友達との旅行も行けないし,  
それどころか, 2人暮らしだからね.  
お父さんのごはんとか作らないと  
じゃないの



# 治療内容

- ・入院1日目：脳梗塞治療薬(脳保護薬, トロンボキサン合成酵素阻害薬)の点滴を実施
- ・入院2日目：脳梗塞治療薬(脳保護薬, トロンボキサン合成酵素阻害薬, 選択的抗トロンビン薬)の点滴を実施
- ・入院3日目：脳梗塞治療薬(脳保護薬, 選択的抗トロンビン薬, 血漿増量体外循環灌流液)の点滴, および抗血小板薬の内服を実施

# 安静度

- ・入院1～2日目：ベッド上安静，飲食禁止，差し込み便器・尿器使用
- ・入院3日目：車椅子乗車可，トイレ使用可，食事・飲水開始指示あり

# バイタルサイン

意識レベルJCS 0 (p.52)

バイタルサイン

- ・ 血圧162/88mmHg
- ・ 脈拍75回/分, 不整脈なし
- ・ 呼吸回数16回/分
- ・ SpO<sub>2</sub> 97%, 努力呼吸なし
- ・ 瞳孔2.5mm大, 左右差なし

頭蓋内圧亢進症状：なし

# 入院時検査データ

血液検査：RBC 468万/ $\mu$ L, Plt 24万/ $\mu$ L, APTT 26.9秒, D-ダイマー 1.3  $\mu$ g/mL, BUN 13.0mg/dL, Cr 0.51mg/dL, Ccr 102mL/分, eGFR 91.2mL/分/ $1.73\text{m}^2$ , AST 30IU/L, ALT 23IU/L, LDH 232IU/L, T-Bil 0.12mg/dL, HbA1c 6.2%, 血糖値 90mg/dL

TP 8.3g/dL, Alb 4.53g/dL, Hb 14.23g/dL,  
HbA1c 6.2%, 血糖値 90mg/dL, WBC 7,000/  
 $\mu$ L, CRP 0.13mg/dL, TG 124mg/dL, Na  
142mEq/L, K 4.0mEq/L, Ca 9.5 mg/dL, Cl  
100mEq/L

検査データ：BUN 13.0mg/dL, Cr 0.51mg/  
dL, Ccr 102mL/分, eGFR 91.2mL/分  
/1.73m<sup>2</sup>

尿性状：黄色，尿比重1.024，尿タンパク(－)，  
尿糖(－)，潜血(－)

## 嗜好品

飲酒は、ビール350mL1缶を週末2日程  
度摂取

- **右上肢バレー徴候陽性→入院当日午後より悪化**
- **右上下肢不全麻痺、右の手は挙げることは可能だが、左に比べて力が弱い。右上肢は10cm程度挙げる事が可能**
- **右不全麻痺により、トイレ動作が間に合わず、尿失禁あり**
- **(入院前)排便1回/日**  
**(最終排便)入院前日 普通便**

- **JCS 0**
- **見当識障害あり**
- **記銘力あり**
- **認知症なし**
- **理解力あり**
- **意思決定の可能**
- **失認、失行なし**

- **視野障害なし**
- **感覚障害なし**
- **失語、構音障害無し**
- **難聴なし**
- **老眼鏡使用**
- **補聴器使用なし**

何事も最後まで行う几帳面な性格で、友人は多く、遠方の友人とは毎年旅行をしていた

入院や治療に対しては、「怖いわ。病院に入院したのに、どんどん悪くなって」と述べている

後遺症に関しては、右上下肢の不全麻痺が出現し失禁をしてしまっている。それにより「こんな身体になってしまい、本当に情けない……」と述べ、不全麻痺の右手をたたいている行動もみられる  
表情が暗く、涙をこぼしていた

JCS 0で理解力はある

リハビリに対しては、「治療もしていたのにこんなに手も足も悪くなって、今さらリハビリなんてしても意味がないんじゃないの」と述べている

皮膚乾燥なし，発赤なし，浮腫なし  
体温36.7℃，異常発汗なし  
倦怠感なし  
嘔気，嘔吐なし

明らかな顔面麻痺はなし(口唇・舌左右対称，流涎なし)

排泄：差込便器を使用 「すっきり排泄できない」  
清潔・更衣：全身清拭 全介助  
食事：絶飲食

「子どもも近くにいないし、お父さんと仕事ができることがある意味楽しみだった  
というか、それに、手や足が動かなかっ  
たら、友人との旅行も行けないし、それ  
どころか、2人暮らしだからね、お父さ  
んのごはんとか作らないとじゃないの」と  
述べている